



# 第35期第1四半期 決算資料

---

テクマトリックス株式会社

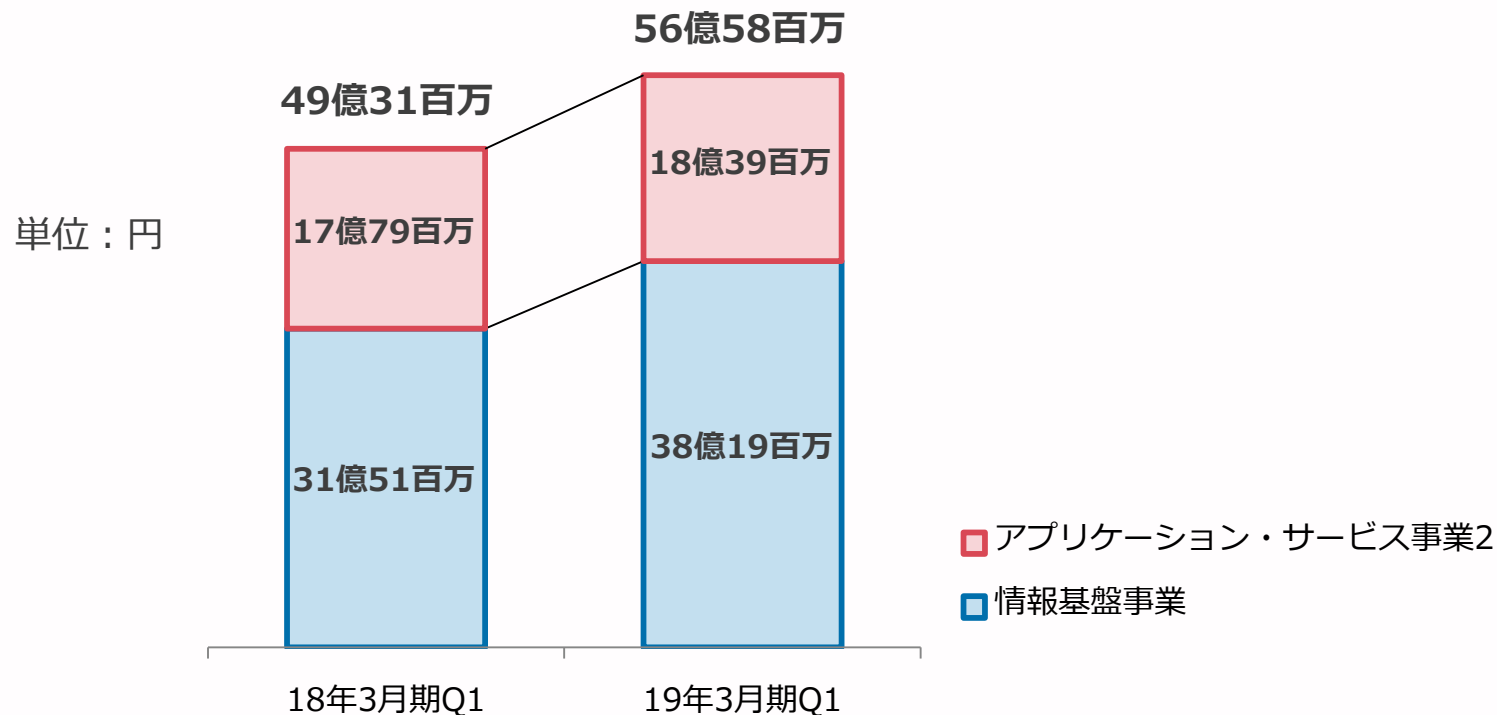
- 1. 第1四半期 業績報告**
- 2. 事業活動トピックス**
- 3. 中期経営計画「GO BEYOND 3.0」**
- 4. 当社のビジネスモデル（ご参考）**
- 5. 市場環境（ご参考）**

# 1. 第1四半期 業績報告

	2018年3月期 Q1	2019年3月期 Q1	増減額	増減率
売上高	49億31百万	56億58百万	+7億27百万	+14.7%
営業利益	1億03百万	3億53百万	+2億50百万	+242.4%
経常利益	2億45百万	3億20百万	+74百万	+30.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1億48百万	2億13百万	+65百万	+44.2%

◆ 情報基盤事業の売上高は、堅調な受注により前年比大幅増加。アプリケーション・サービス事業も順調に推移。売上高、営業利益とも過去最高を記録。

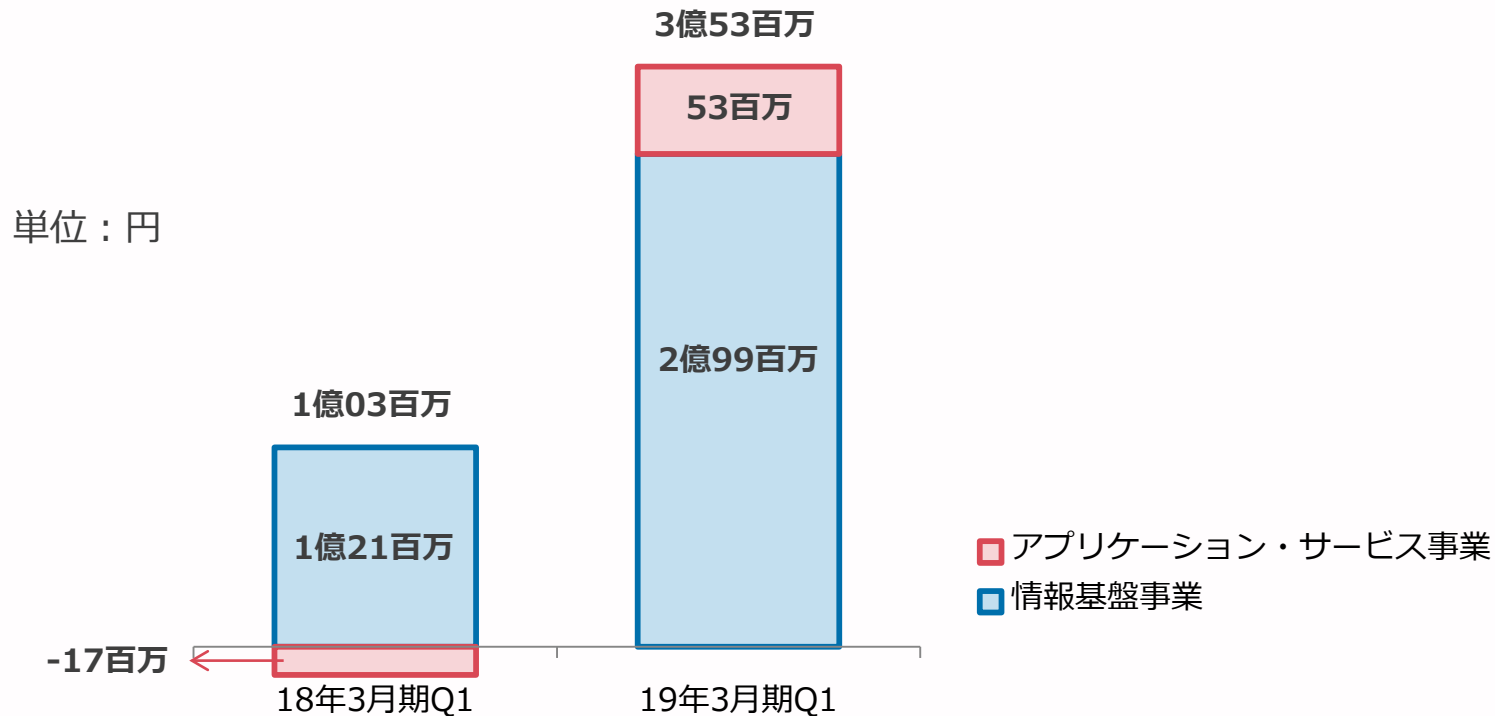
# セグメント別売上高



	18年3月 Q1	19年3月 Q1	増減額	増減率
情報基盤事業	31億51百万	38億19百万	+6億68百万	+21.2%
アプリケーション・サービス事業	17億79百万	18億39百万	+59百万	+3.3%

- ◆ 情報基盤事業では、売上高、営業利益ともに過去最高を記録。
- ◆ アプリケーション・サービス事業では、医療分野、CRM分野とソフトウェア品質保証分野が堅調に推移し、売上高、営業利益ともに過去最高を記録。

# セグメント別営業利益



	18年3月 Q1	19年3月 Q1	増減額	増減率
情報基盤事業	1億21百万	2億99百万	+1億78百万	+147.5%
アプリケーション・サービス事業	-17百万	53百万	+70百万	

◆ 情報基盤事業は大幅な増益。アプリケーション・サービス事業は、例年Q1では販促費が先行して赤字傾向であったが、黒字化達成。前年は不採算案件も影響。

◆情報基盤事業（売上高）	対前年同期
負荷分散装置等 (BIG-IP, EDGE)	
次世代ファイアウォール(PaloAlto, Traps)	
アンチウィルス/不正侵入防衛/セキュリティイベント管理/Webセキュリティ	
個人認証システム/フォレンジック製品/ストレージ製品	
セキュリティ運用・監視サービス	
官公庁ビジネス（直販）	
その他セキュリティ製品	
クロスヘッド・沖縄クロス・ヘッド	
◆アプリケーション・サービス事業（売上高）	対前年同期
インターネットサービス分野（カサレアル含む）	
ソフトウェア品質保証分野	
医療分野（医知悟含む）	
CRM分野	



+10%以上



+10%未満



±5%未満



△10%未満



△10%以上

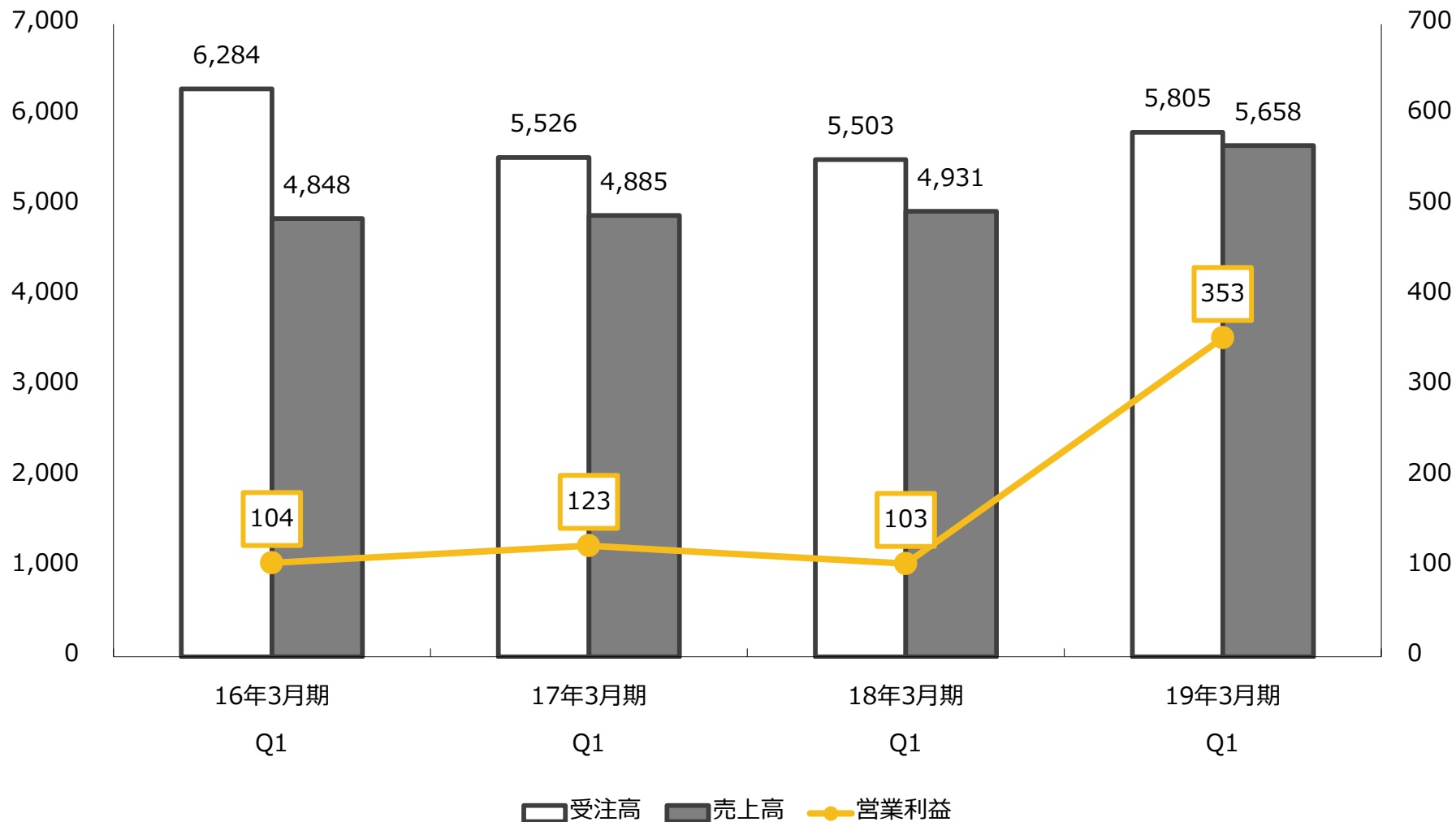
# 受注高・売上高・営業利益推移

受注高・売上高

(百万円)

営業利益

(百万円)

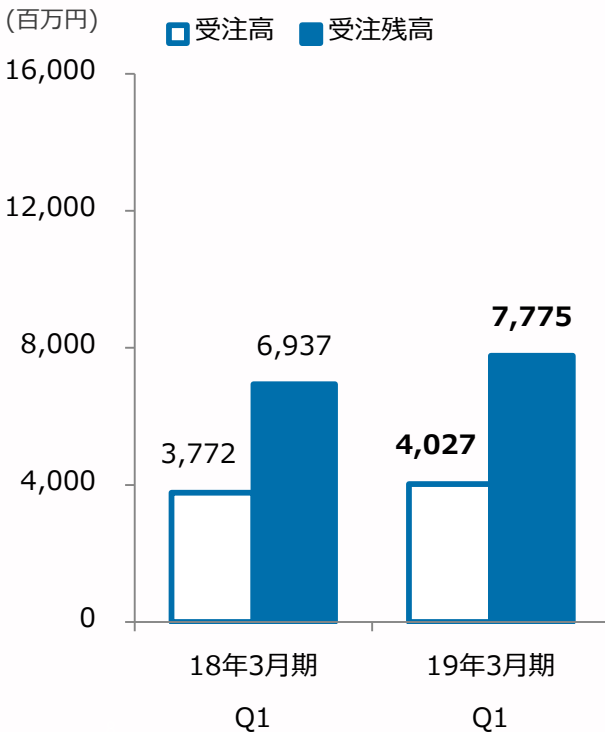




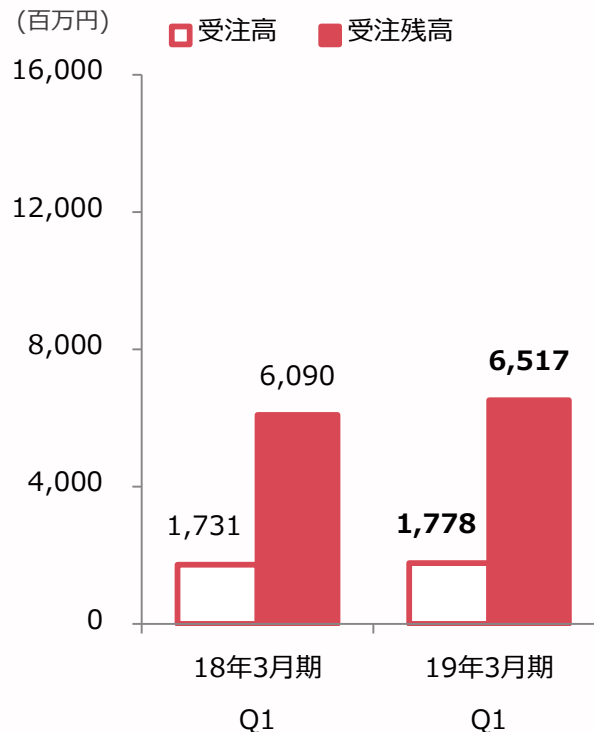
# 受注高と受注残高

- ◆ 情報基盤事業では、負荷分散装置の受注が堅調。官民で次世代ファイアウォール等のネットワークセキュリティ製品やストレージ製品の受注も堅調に推移し、前年を超過（6.8%UP）。受注残も大幅に伸長（12.1%UP）。
- ◆ アプリケーション・サービス事業では、医療分野、ソフトウェア品質保証分野、CRM分野での受注が堅調に推移し、前年を超過（2.7%UP）。受注残も伸長（7.0%UP）。

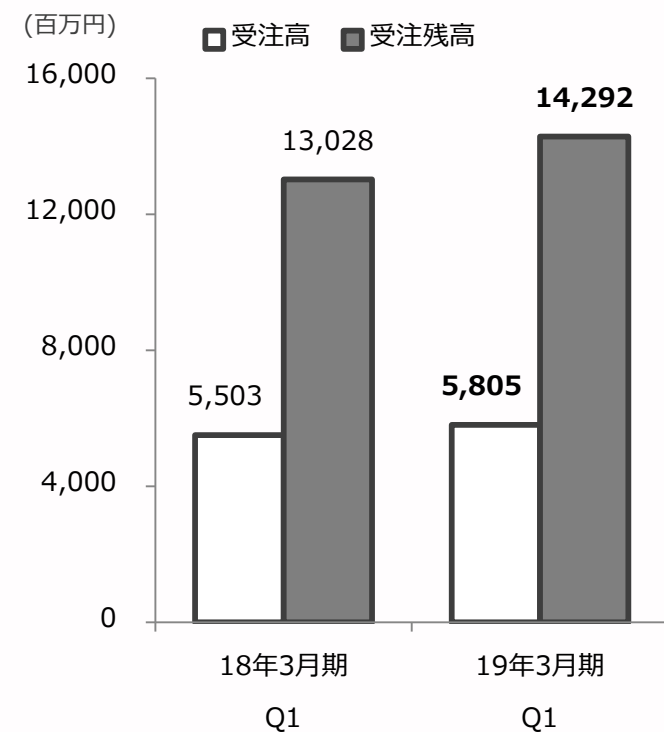
## 情報基盤事業



## アプリケーション・サービス事業

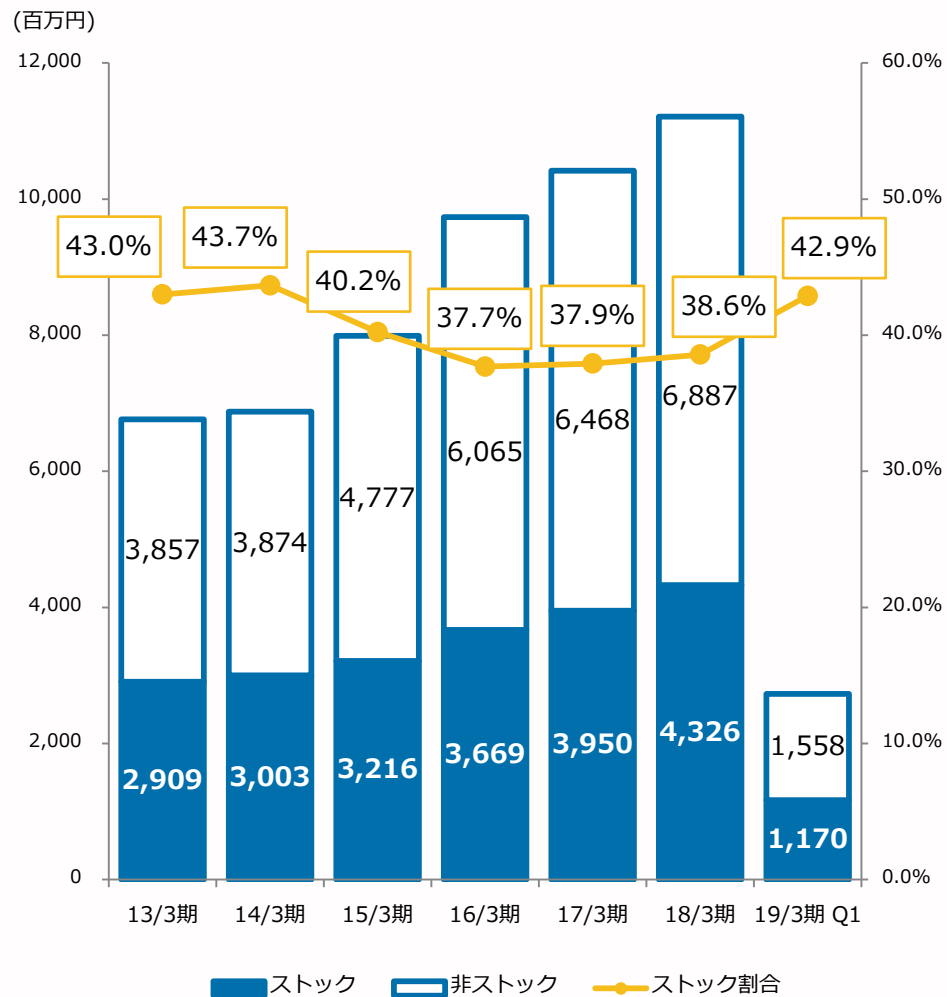


## 全社合計



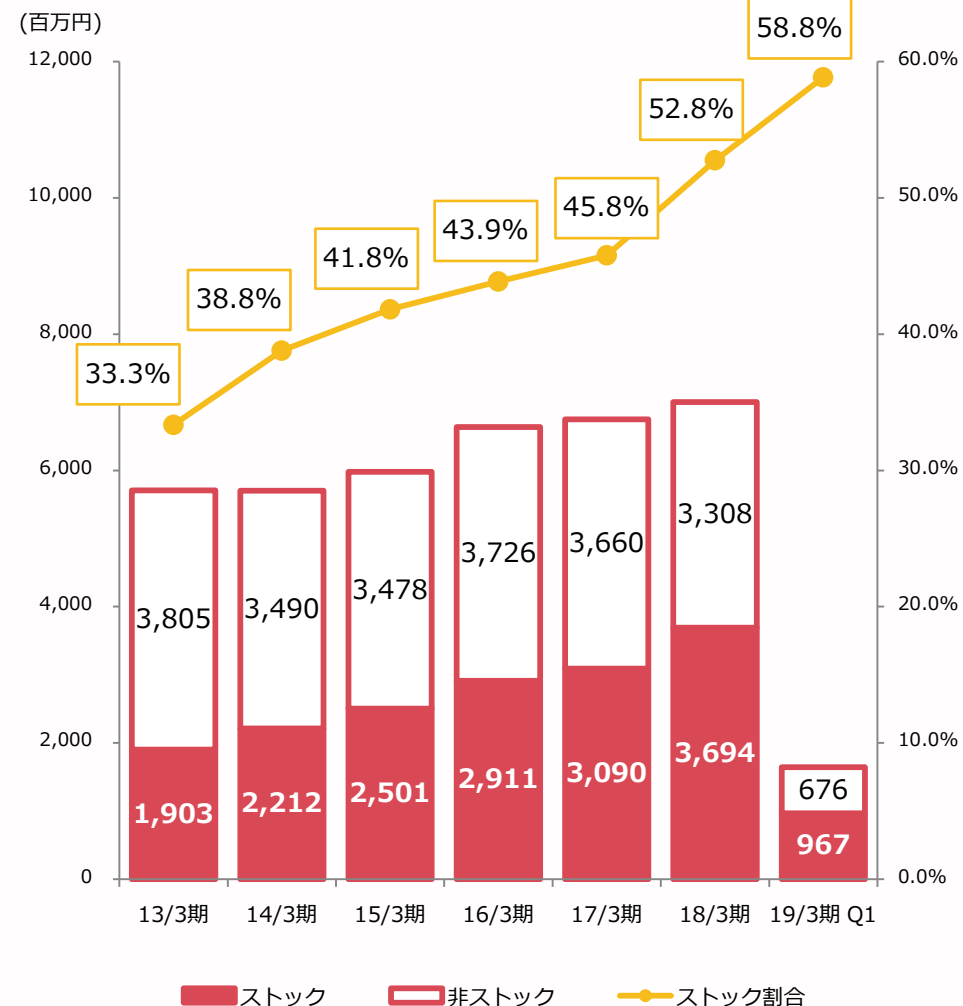
# ストック比率の進捗状況（単体+株式会社NOBORI）

## 情報基盤事業



\* 情報基盤事業は、適正水準を維持。

## アプリケーション・サービス事業



\* アプリケーション・サービス事業は、クラウドビジネスの積み上がりにより、ストック比率が伸長。

# 連結貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

	18年3月期	19年3月期 Q1		18年3月期	19年3月期 Q1
<b>流動資産合計</b>	<b>14,628</b>	<b>16,650</b>	<b>流動負債</b>	<b>9,489</b>	<b>9,523</b>
現金・預金	6,097	8,299	買掛金	1,208	974
受取手形・売掛金	4,449	3,611	短期借入金	450	450
その他流動資産	4,080	4,739	1年内返済予定の 長期借入金	300	300
<b>固定資産</b>	<b>3,998</b>	<b>4,010</b>	その他流動負債	7,531	7,799
有形固定資産	1,072	1,094	<b>固定負債合計</b>	<b>3,163</b>	<b>3,096</b>
のれん	22	16	長期借入金	1,450	1,375
その他無形固定資産	1,196	1,199	その他固定負債	1,713	1,721
投資その他の資産	1,707	1,699	<b>負債合計</b>	<b>12,653</b>	<b>12,620</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,626</b>	<b>20,661</b>	株主資本	5,898	6,862
			その他の包括利益累計額 合計	△2	
			<b>純資産合計</b>	<b>5,973</b>	<b>8,041</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>18,626</b>	<b>20,661</b>

\* 自己資本比率

18年3月期 31.7%

19年3月期Q1 33.2%

840

「NOBORI」 契約施設数

(2018年6月30日現在)

22,947,000

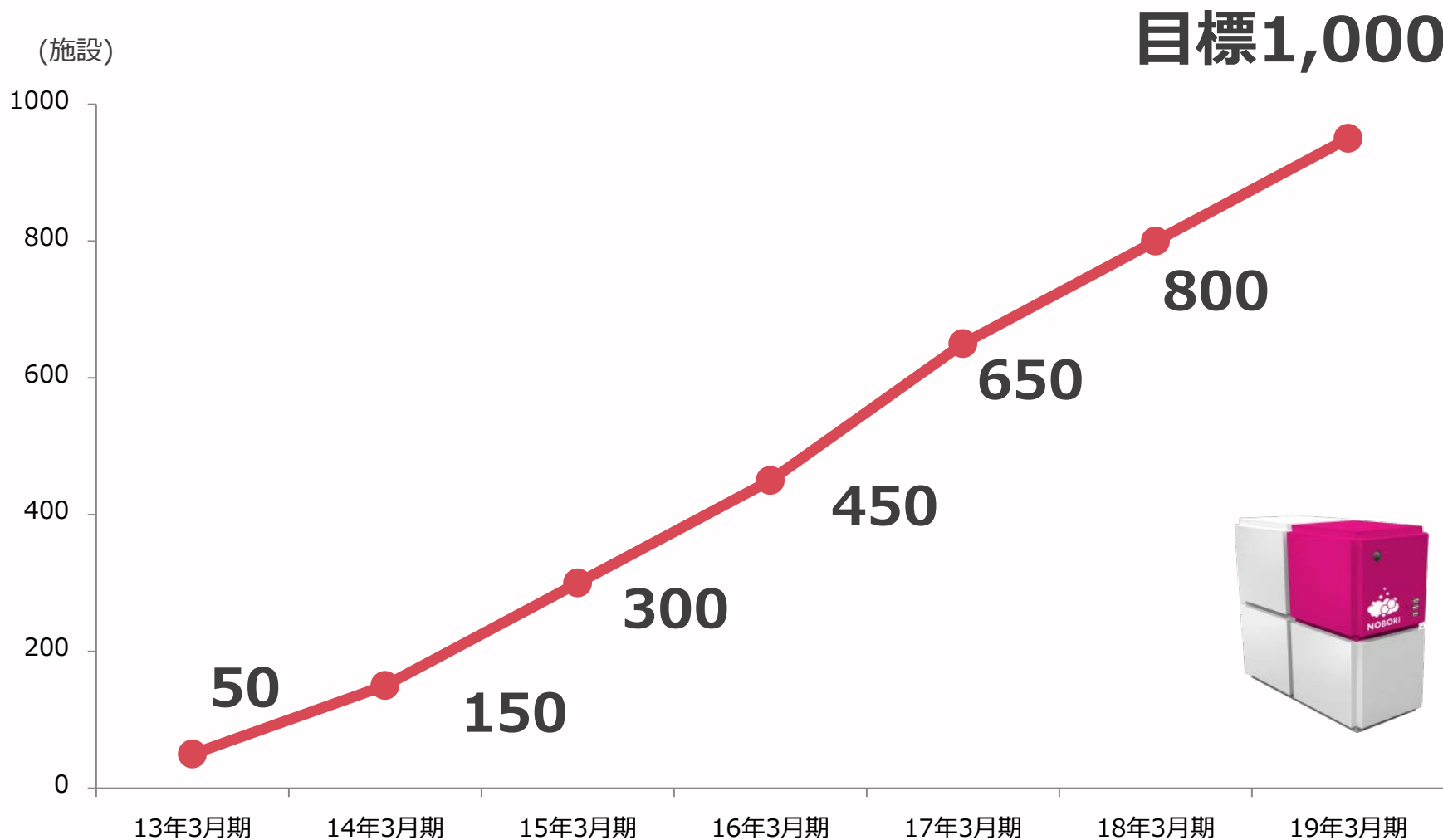
「NOBORI」 に画像を保管している患者数

(2018年6月30日現在)

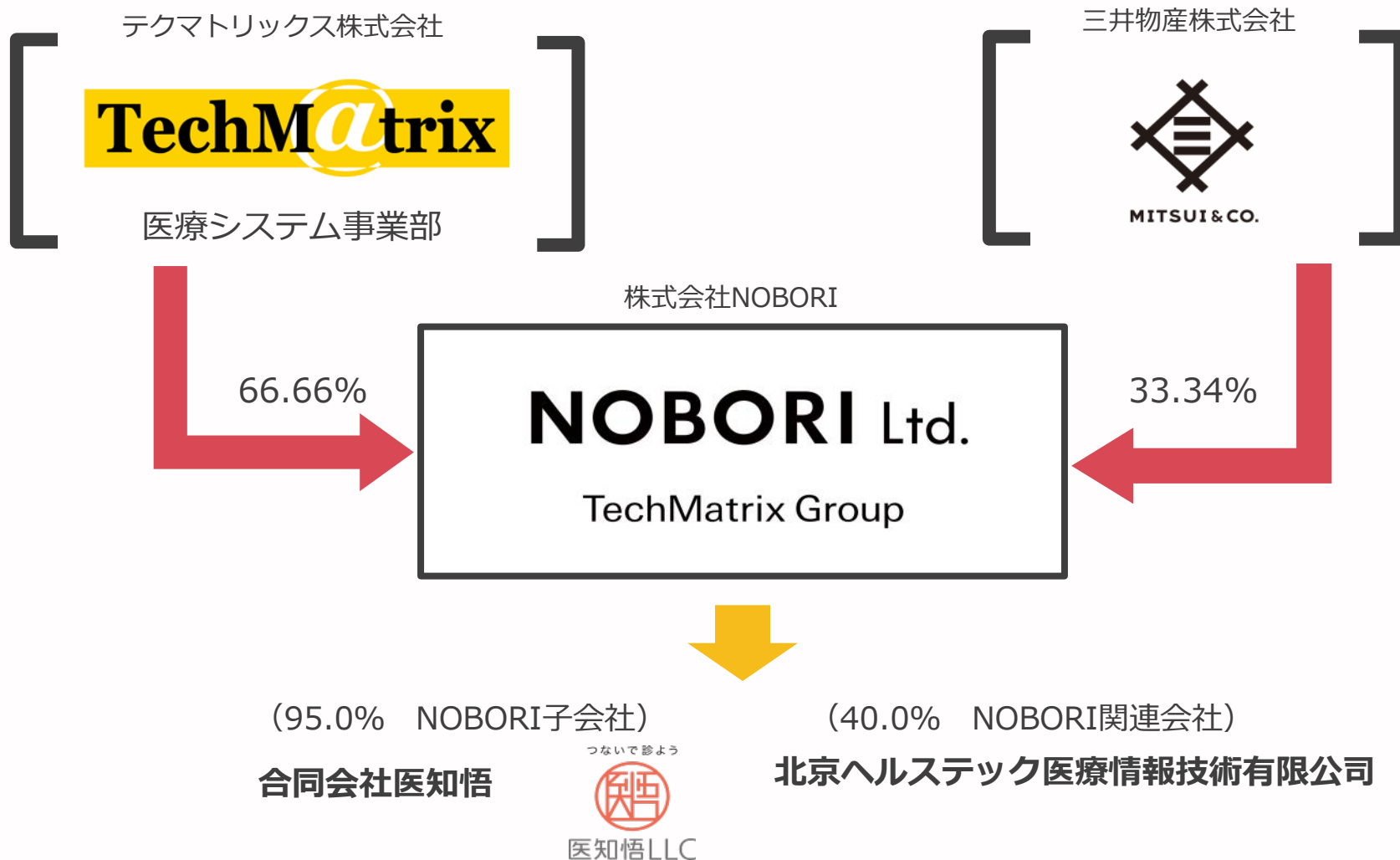
124,340,000

「NOBORI」 に保存する検査件数

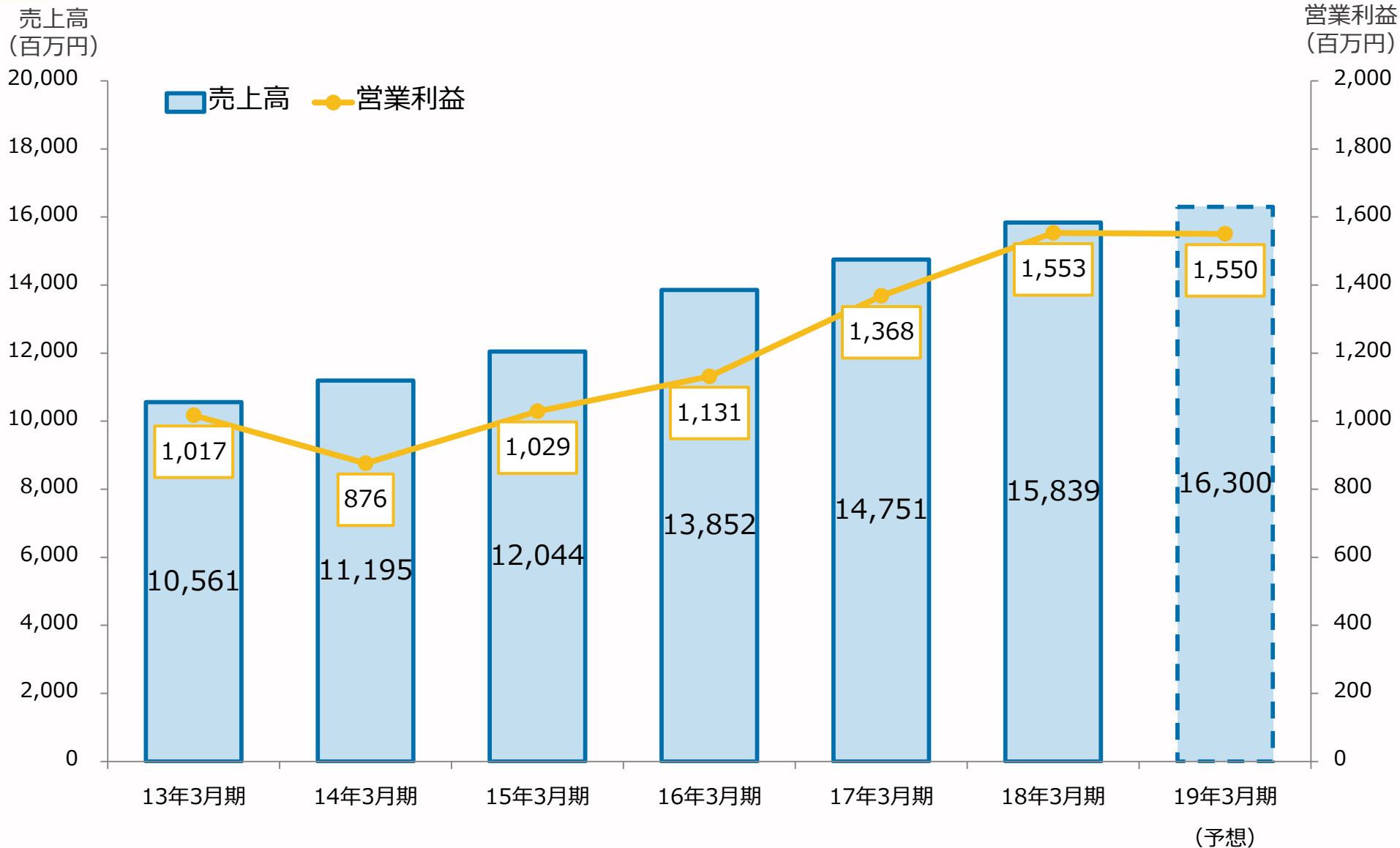
(2018年6月30日現在)



2018年4月、医療情報クラウドサービス「NOBORI」を提供する医療システム事業部を株式会社NOBORIに承継。医療分野での更なる成長を目指す。



# 情報基盤事業の売上高と営業利益の推移







## 2. 事業活動トピックス

# NOBORI

「NOBORI PAL」に新たなサービス  
「ClearRead XR-PAL」と「医知悟PAL」を追加



NOBORIユーザに、医療現場を支援する便利なアプリケーションが集合した「NOBORI PAL」を提供

## テクマトリックス

負荷テスト・パフォーマンステストツール「NeoLoad」の販売を開始



### 主な特徴

1. 強力なレコード機能と豊富なテスト設定機能で、シナリオテストの作成時間を短縮
2. テストシナリオの設定や保守、再利用が容易
3. モバイルデバイスからのアクセスをシミュレート
4. 動画・音声コンテンツのパフォーマンスを定量的に分析
5. 最新のWeb・モバイルテクノロジーをサポート
6. 世界各地から負荷を生成

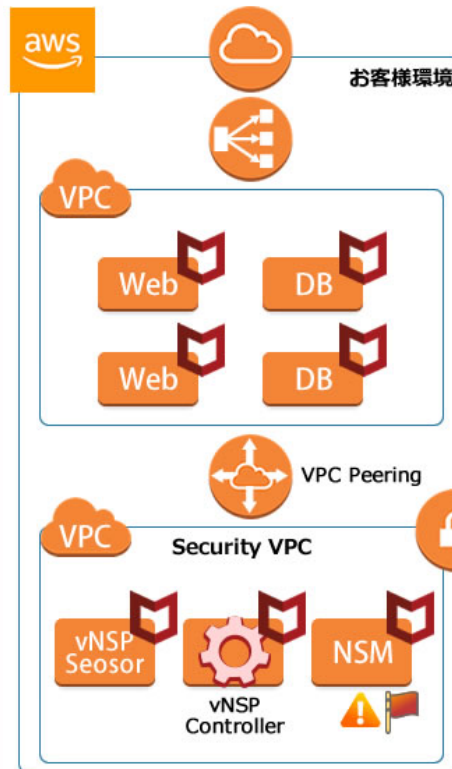
クラウド・モバイル・IoTに対応し、CIツールなどとのDevOpsツールチェーンを構築し、世界各地からのアクセスをシミュレートするリアリティの高い負荷テスト環境を提供

## テクマトリックス

クラウド環境を高いサービス品質で監視する『TRINITY セキュリティ運用監視サービス for AWS』にMcAfee vNSP を追加



子会社のクロス・ヘッドでは、AWSの導入支援から、運用・監視サービス、支払い代行サービスを提供



クラウド環境のIPS(vNSP)に対しても高品質なセキュリティ運用監視サービスを提供します

- 2017年8月よりAWS環境向けにセキュリティ運用監視サービスを提供
- 次世代IPSの仮想版「McAfee Virtual Network Security Platform」(McAfee vNSP)をラインナップに追加



テクマトリックス監視センター



セキュリティアナリスト



「McAfee vNSP」におけるライセンスの販売から、その設計・構築・保守・運用・セキュリティ監視をすべて提供

テクマトリックスグループでは、AWS運用の最適化とオンプレミス環境と同レベルの高度なセキュリティ対策をお客様へ提供

## テクマトリックス

「IT 経営注目企業2018」及び「JPX日経中小型株指数の構成銘柄」に選定

### IT 経営注目企業2018

経済産業省と東京証券取引所による「攻めのIT 経営銘柄2018」において、「IT 経営注目企業2018」に選定。攻めのIT 経営銘柄は、東京証券取引所の上場会社の中から、中長期的な企業価値の向上や競争力の強化といった視点から戦略的にIT 活用に取り組む企業を選定するものであり、銘柄に準ずる高い評価を受けた企業や注目される取り組みを行う企業を「IT 経営注目企業」として選定。

#### 【評価のポイント】

連結子会社である株式会社NOBORI が中心に行っている「医療情報クラウドサービスNOBORIのビジネス推進」



### JPX日経中小型株指数の構成銘柄

東京証券取引所と日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2018年度（2018年8月31日～2019年8月29日）の構成銘柄（全200銘柄）に選定。

「JPX日経中小型株指数」は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする「JPX日経インデックス400」の考え方を中小型株にも適用し、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行う企業が構成銘柄。

これからますます幅広い投資家の皆さまに注目いただき、ご期待に添えるよう、企業価値の向上を目指す。

日付	内容
4月	タイ・バンコクに駐在員事務所設立
	「NOBORI PAL」に新たなサービス「ClearRead XR-PAL」と「医知悟PAL」を追加
	クロス・ヘッド、エフセキュアと連携しGDPR 対策セキュリティサービスの提供を開始
	沖縄クロス・ヘッド、中小企業向け災害復旧対策バックアップサービスを提供開始
5月	負荷テスト・パフォーマンステストツール「NeoLoad」の販売を開始
	FAQナレッジ管理システム「FastAnswer2」の新バージョンを販売開始
	コンタクトセンターCRMシステム「FastHelp」のWebチャット対応を支援する「FastChat」を販売開始
	「攻めのIT 経営銘柄2018」において「IT 経営注目企業2018」に選定

日付	内容
6月	沖縄クロス・ヘッド、日本ヒューレット・パカードとアジア諸国向けにIT サービス提供で協業
	自己株式の消却のお知らせ及び第三者割当による第1回行使価額修正条項付新株予約権の発行のお知らせ
7月	テスト自動化基盤パッケージ「Jenkins Platform Package for Java」の販売を開始
8月	クラウド環境を高いサービス品質で監視する『TRINITY セキュリティ運用監視サービス for AWS』に McAfee vNSP を追加
	JPX日経中小型株指数の構成銘柄に選定

# 3. 中期経営計画 「GO BEYOND 3.0」



TMX 3.0 の事業戦略は引き続き継続

- **クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進**
- **セキュリティ&セイフティ（安心と安全）の追求**

1 事業運営体制の多様化  
（資本提携、業務提携、大学・研究機関との連携、オープンイノベーション）

2 サービス化の加速（全領域）

3 データの利活用（AIの利用を含む）

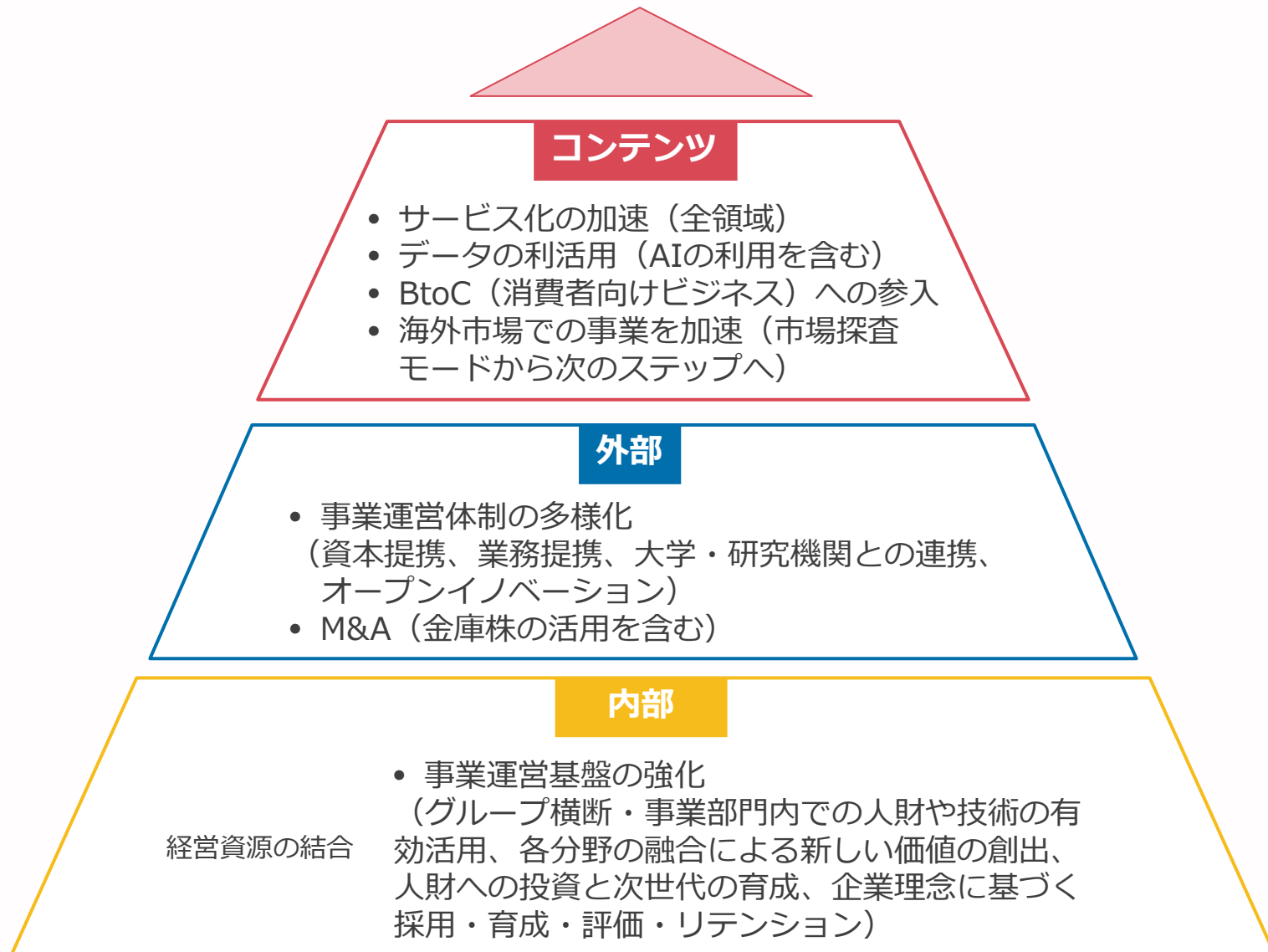
4 BtoC（消費者向けビジネス）への参入

5 海外市場での事業を加速（市場探査モードから次のステップへ）

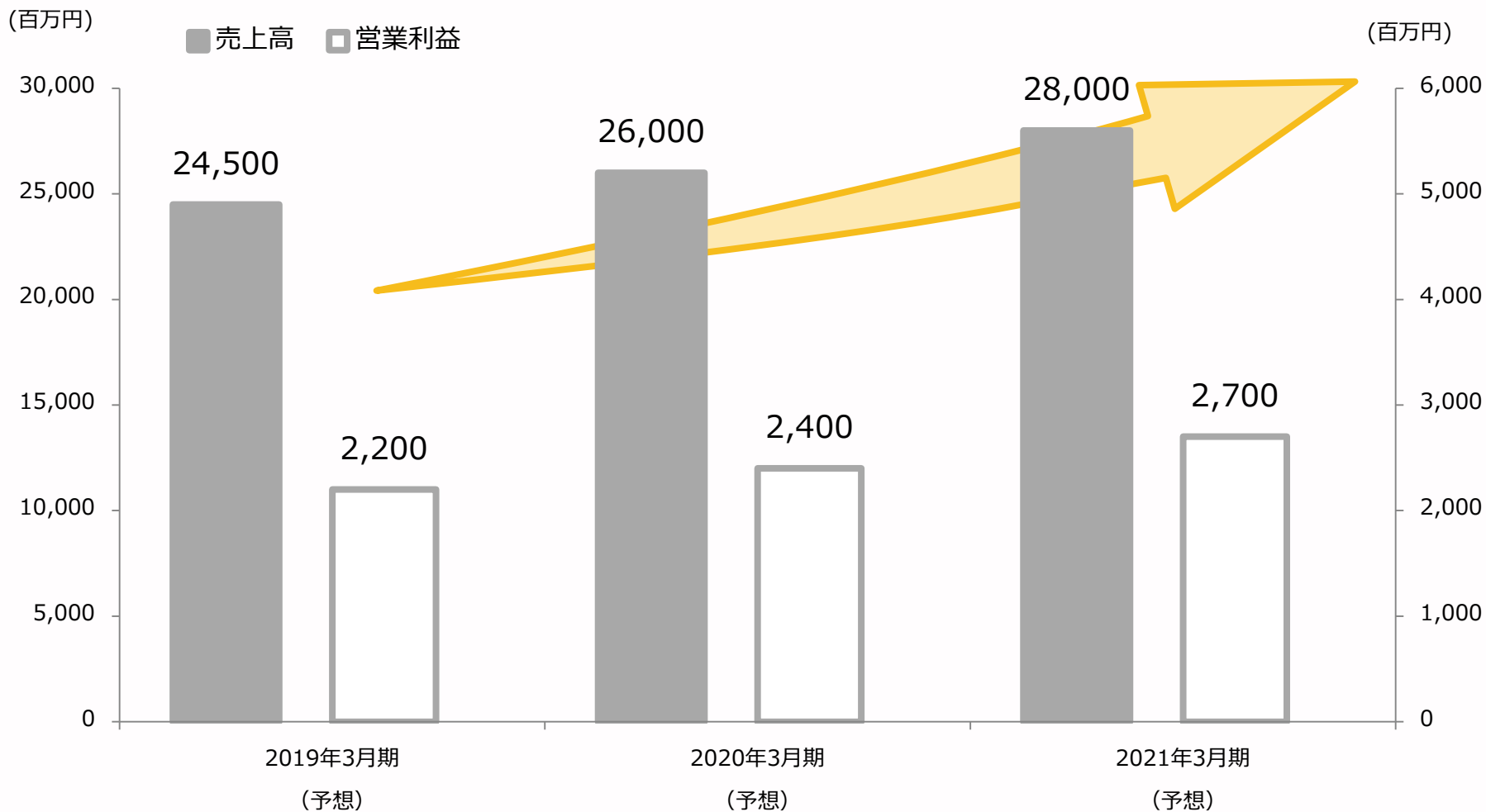
6 事業運営基盤の強化  
（グループ横断・事業部門内での人財や技術の有効活用、各分野の融合による新しい価値の創出、人財への投資と次世代の育成、企業理念に基づく採用・育成・評価・リテンション）

7 M&A（金庫株の活用を含む）

## 新規事業を創出

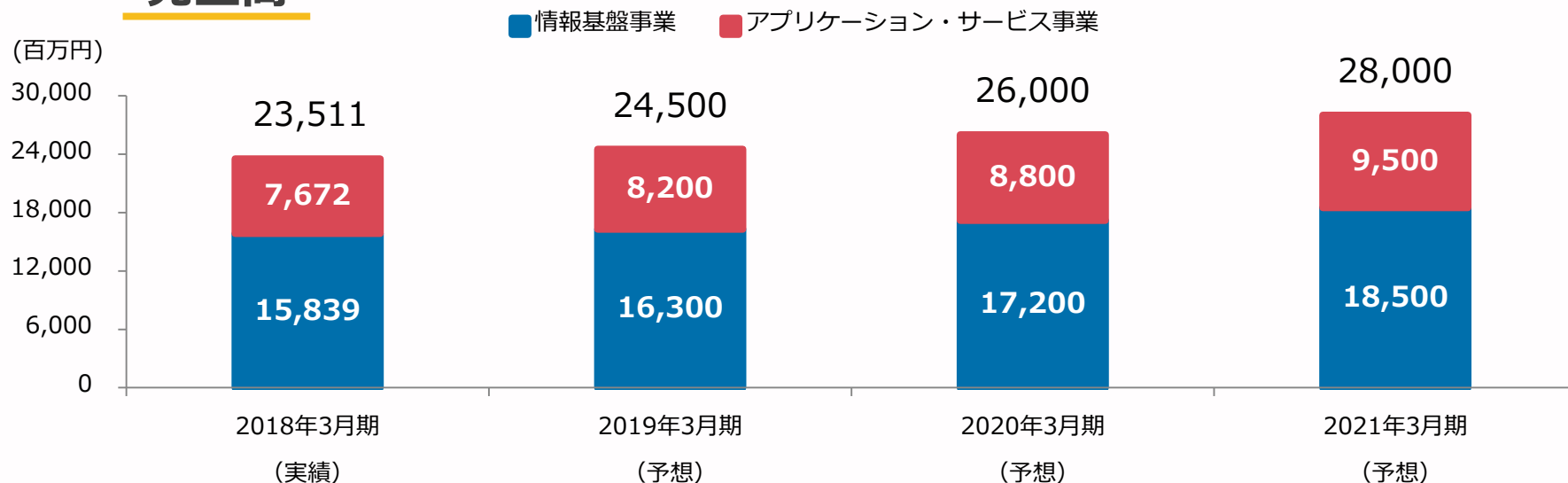


## 売上高・営業利益ともに成長を継続

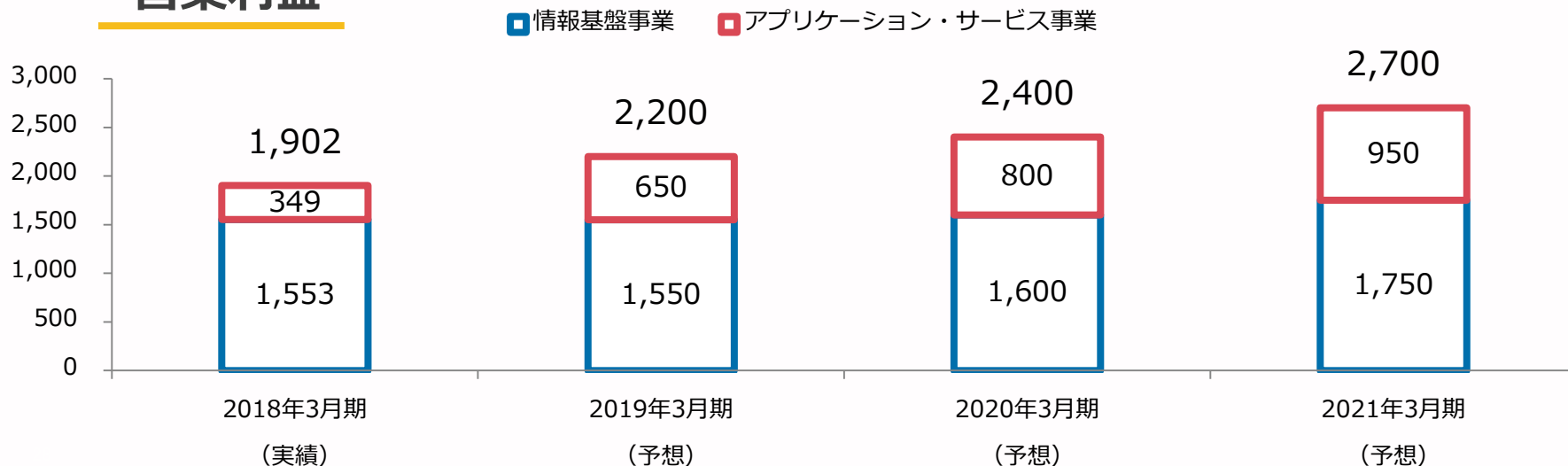


# GO BEYOND 3.0の計画値 (連結)

## 売上高



## 営業利益



## 情報基盤事業

19年3月期～21年3月期（予想）	
売上高 CAGR (%)	5.3
営業利益 CAGR (%)	4.1

21年3月期（予想）	
営業利益率 (%)	9.5

※事業構造の積極的転換・差別化のための独自付加価値サービスの創出に注力

## アプリケーション・サービス事業

19年3月期～21年3月期（予想）	
売上高 CAGR (%)	7.4
営業利益 CAGR (%)	39.6

21年3月期（予想）	
営業利益率 (%)	10.0

※ストック型ビジネスの伸長による収穫期への移行

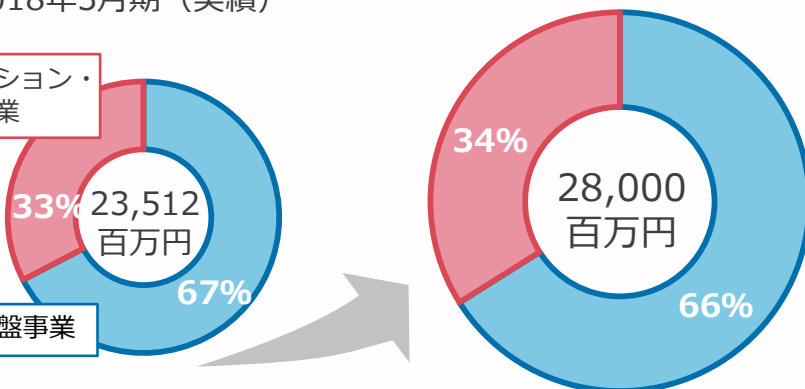
### 売上高

2018年3月期（実績）

2021年3月期（予想）

アプリケーション・サービス事業

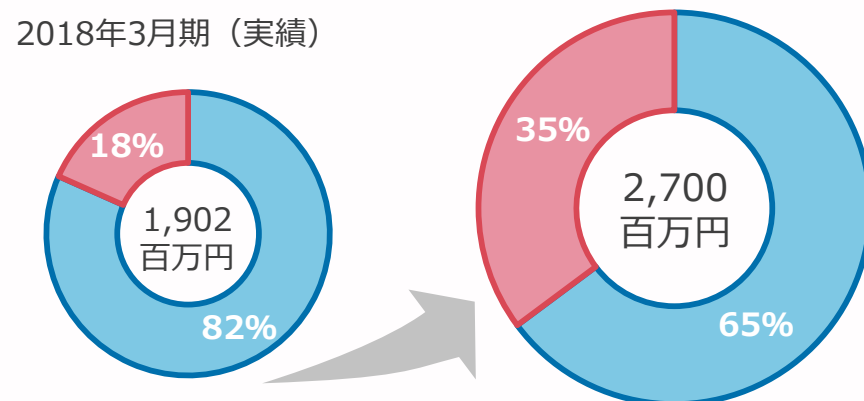
情報基盤事業



### 営業利益

2018年3月期（実績）

2021年3月期（予想）





より良い未来を創造する  
ITのプロフェッショナル集団

## 4. 当社のビジネスモデル（ご参考）



**Point!** 医療施設で撮影されたCT、MRI画像等の医療情報を安全に保管・利用できるクラウドサービス「NOBORI」の提供

**初期投資ゼロ！ IT技術者確保不要！ スペース確保不要！**



- 低価格・短期間で導入できるNOBORIにより医療クラウドサービス市場において先行
- 大規模病院の成約に加え、パートナー営業強化により、今後も契約数は順調に推移する予定
- NOBORIユーザが利用できる、検査予約サービス等のアプリケーションをNOBORI PALで提供

**Point!**

顧客企業の優位性を高める  
コンタクトセンターCRMシステムを提供

- 商品の問い合わせ
- 購入後の問い合わせ



商品

様々な方法での  
問い合わせ



FAX



電話



LINE

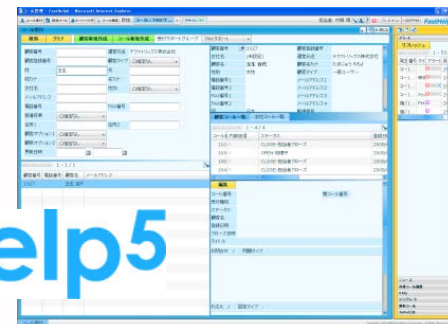


E-Mail



WEB

## FastHelp5



購入履歴や  
過去のFAQ等を  
一元管理

お客様情報を  
瞬時に検索!



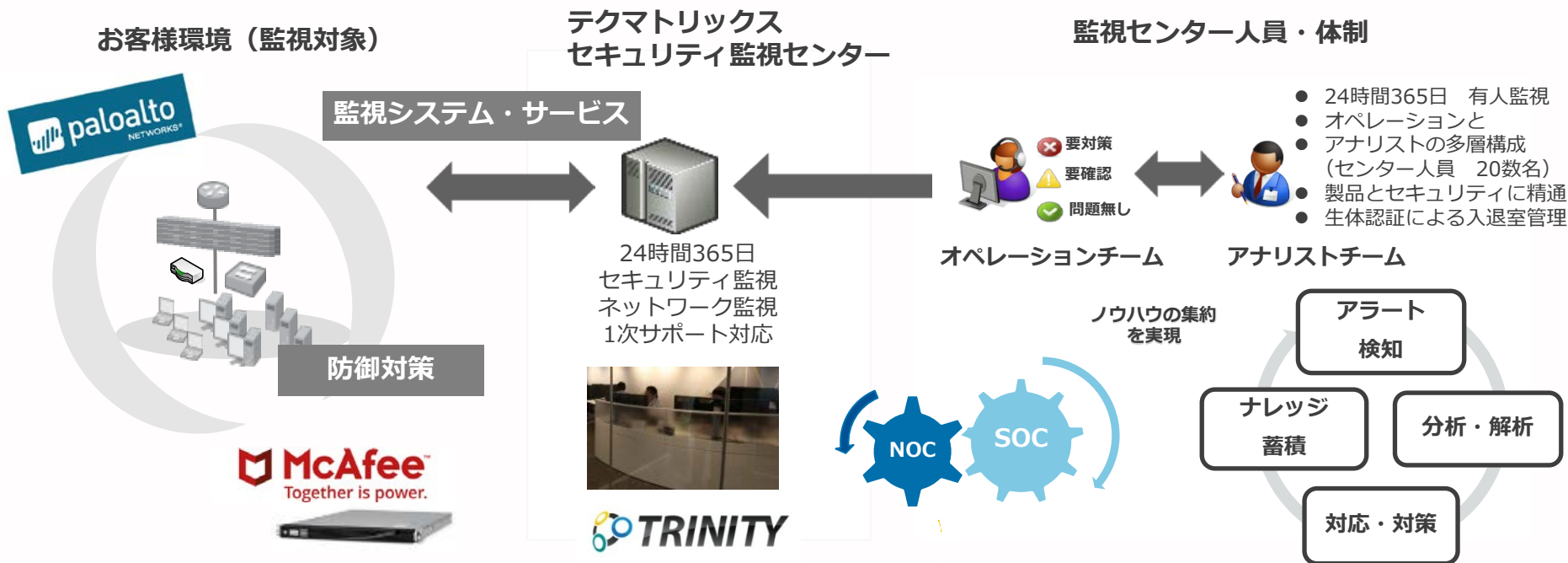
お客様の要望に  
すぐ対応!

顧客満足度UP!



**Point!**

より深く より詳細に 機器を活かす テクマトリックスのワンストップソリューション



## ワンストップソリューション

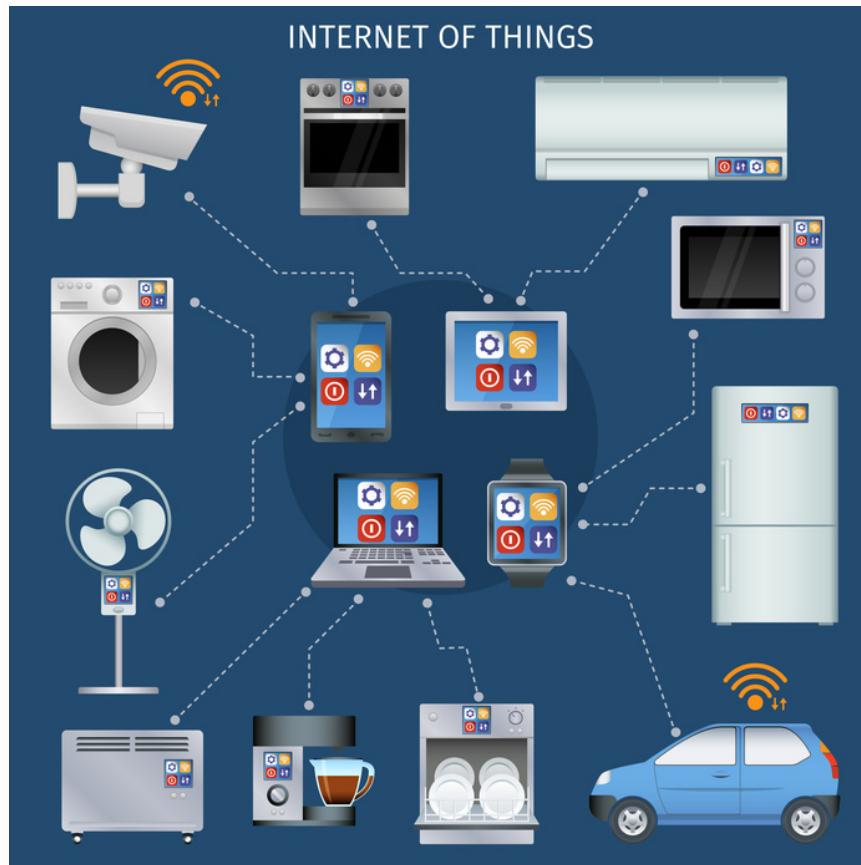
設計・構築・保守 (サポート連携による迅速な障害解決) ・ 機器運用・セキュリティ監視・活用提案をワンストップで提供。

## より深く より詳細に サービスを創出

情報セキュリティ専門ベンダでは、多種多様な製品を監視するため、サービスの内容が浅く広くなりがち。当社では、お客様が当社より購入したセキュリティ製品の進化する各種機能を最大限活用した監視サービスを提供。

**Point!**

IoT : あらゆる物がインターネットに接続し、あらゆる物がソフトウェアで制御されているあらゆる物がサイバー攻撃の対象 ソフトウェアの不具合排除が課題



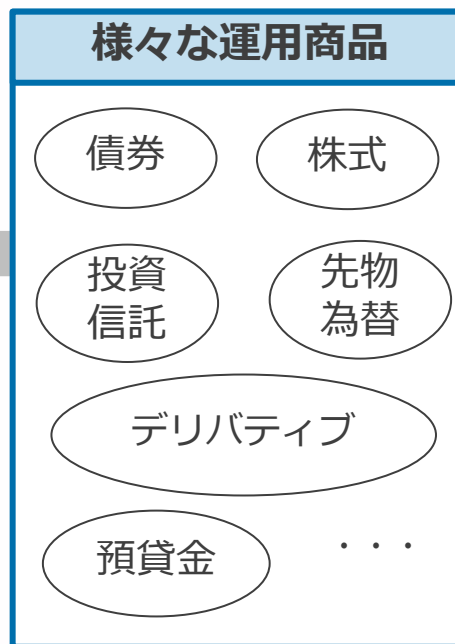
- ▶ テスト、設計、構成管理などに関するソリューション
- ▶ 開発プロセスを実行するインフラ構築、トレーニング、運用支援
- ▶ 本質的な品質改善、生産性向上につながる改善支援

ソフトウェア品質の向上  
ソフトウェア安全規格対応

Point!

皆様の金融資産を預託・運用している、様々な金融機関の安全性を保つためのリスク管理システムを提供

個人や企業の  
金融資産



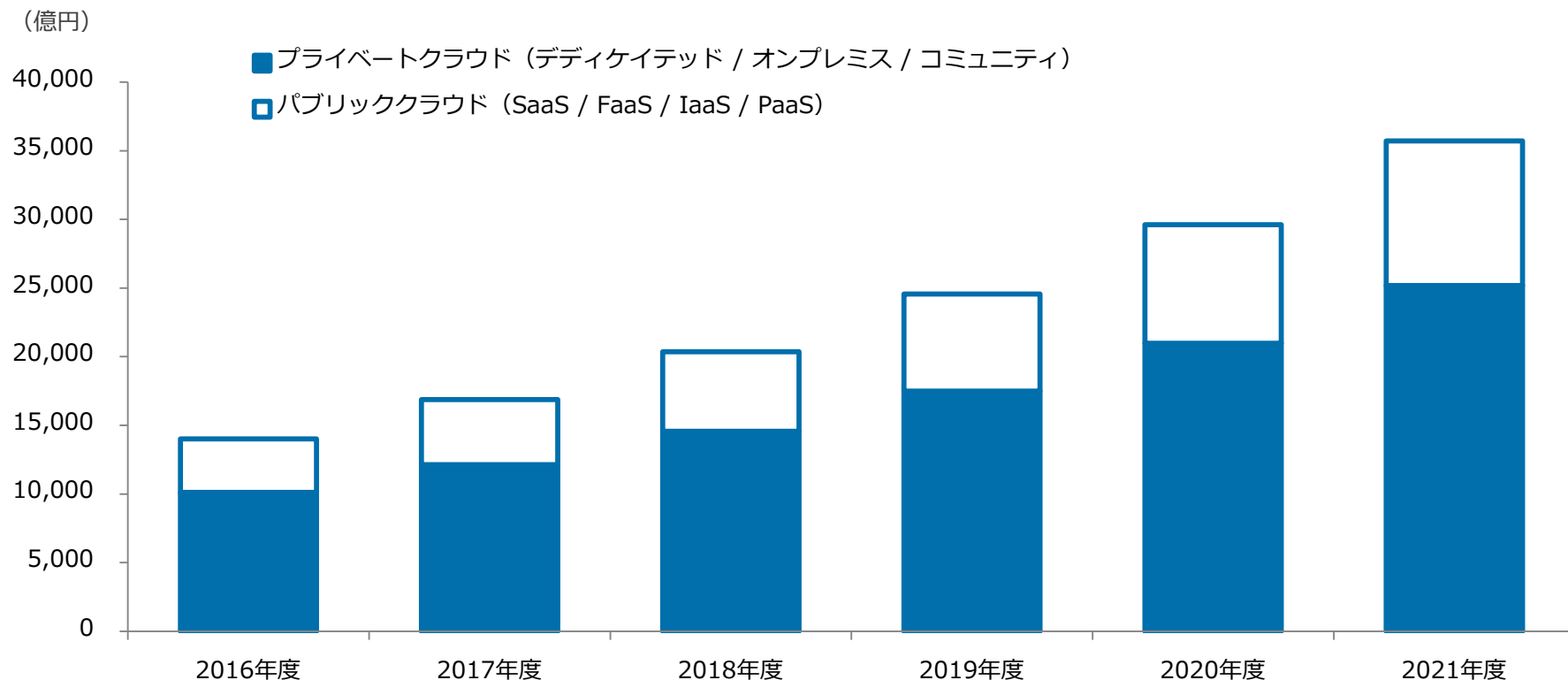
市場リスク、信用リスク、  
価格変動リスク、為替変動  
リスクが潜在



金融資産（ポートフォリオ）  
に対する様々なリスクを多角  
的に計測

# 5. 市場環境（ご参考）

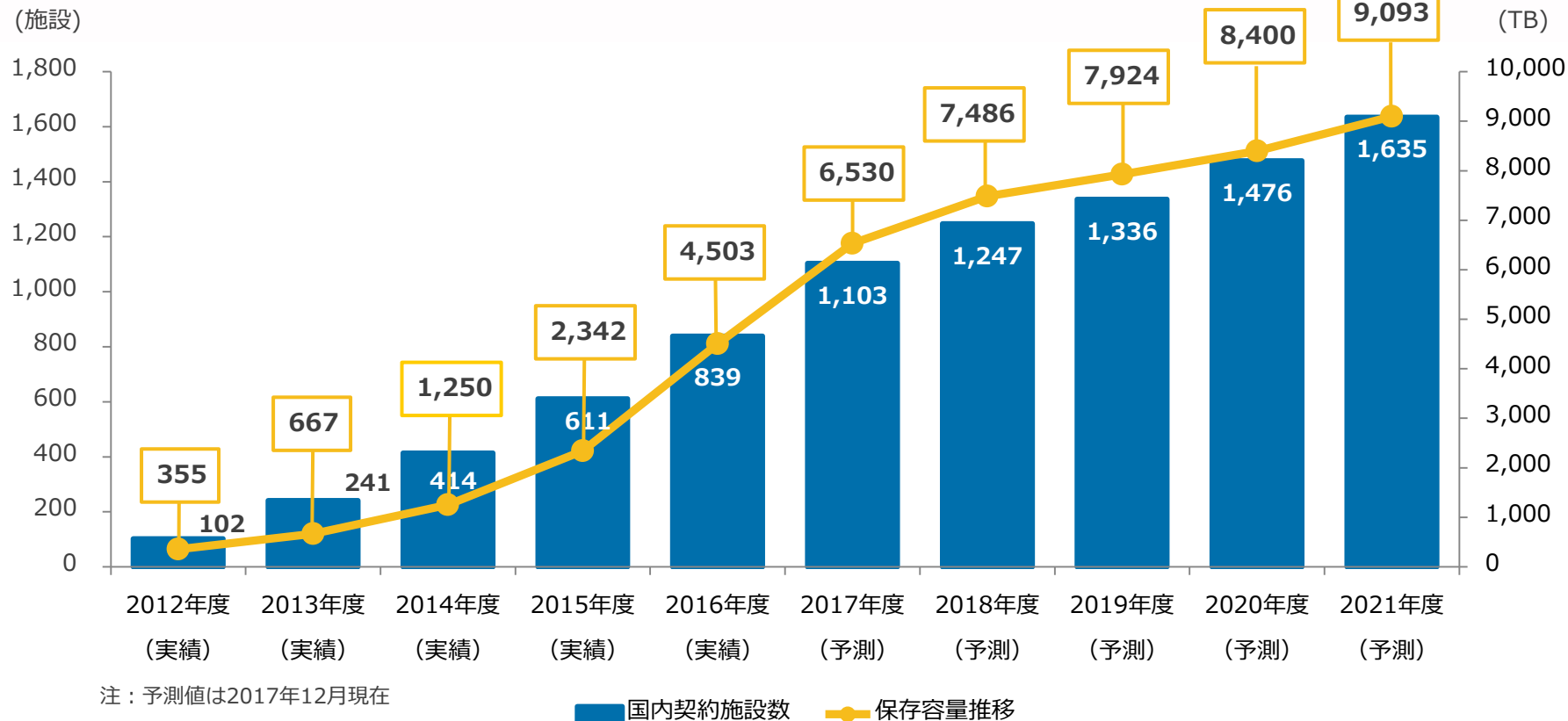
## 国内クラウドサービス市場規模 実績・予測



◆ 2016年度の国内クラウド市場は1兆4,003億円（前年度比38.5%増）、2021年度は3兆5,713億円規模まで拡大すると予測

\* 出所：MM総研「国内クラウドサービス市場規模 実績・予測」（2017年12月27日）

## クラウドPACS市場規模予測

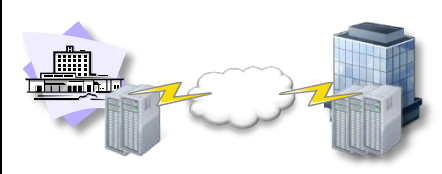
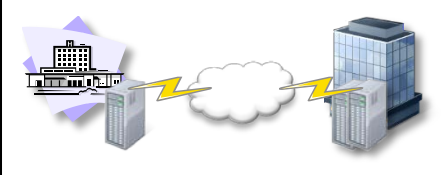
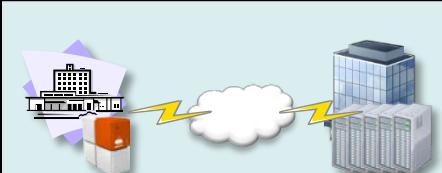



- ◆ 2017年度でのクラウドの国内契約施設数（予測）は1,103。契約施設数が大幅増
- ◆ テクマトリックス「NOBORI」の契約施設数：2017年度実績は累計約800施設

\* 出所：矢野経済研究所「2017年版医用画像システム（PACS）・関連機器市場の展望と戦略」（2017年12月）

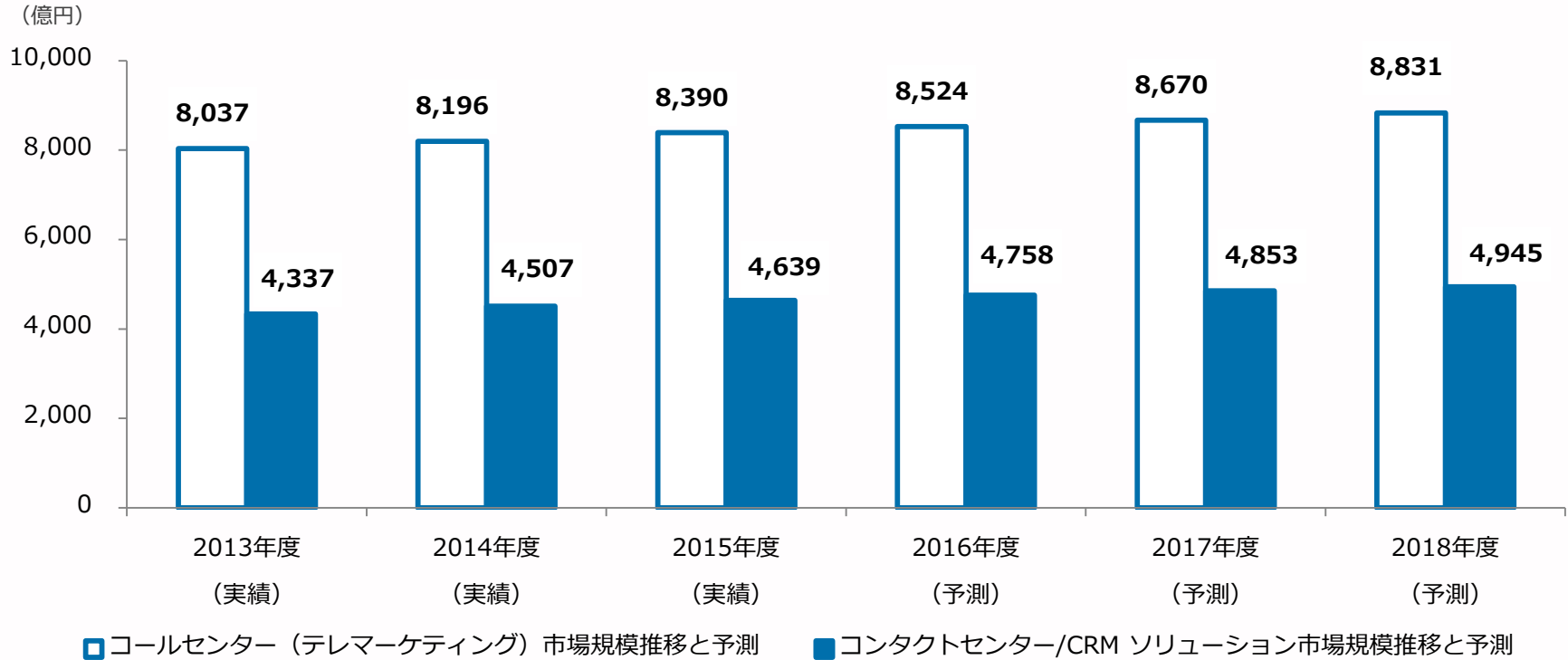


## クラウドPACSの分類

外部保存型クラウドの分類	形態	特徴	構成イメージ	NOBORI
TYPE 1	短期/長期とも院内サーバ + 外部保存（全データを院内と外部データセンターに2重保存）	院外でのデータバックアップ機能の追加。既存システムに追加のコストが発生。		-
TYPE 2	短期は院内サーバ + 長期は外部保存	比較的使用頻度の高いデータを院内保存。既存システムに追加のコストが発生。		-
TYPE 3	院内サーバ設置なし + 外部保存型（院内はキャッシュのみなど）	導入コスト + 院内サーバ不要なため、低価格で。大規模施設に加え、小規模施設で急速に普及する可能性。		

◆テクマトリックスは、TYPE 3 に当たる医療情報クラウドサービス「NOBORI」を提供

## コールセンター（テレマーケティング）・コンタクトセンター/CRMソリューション市場規模予測

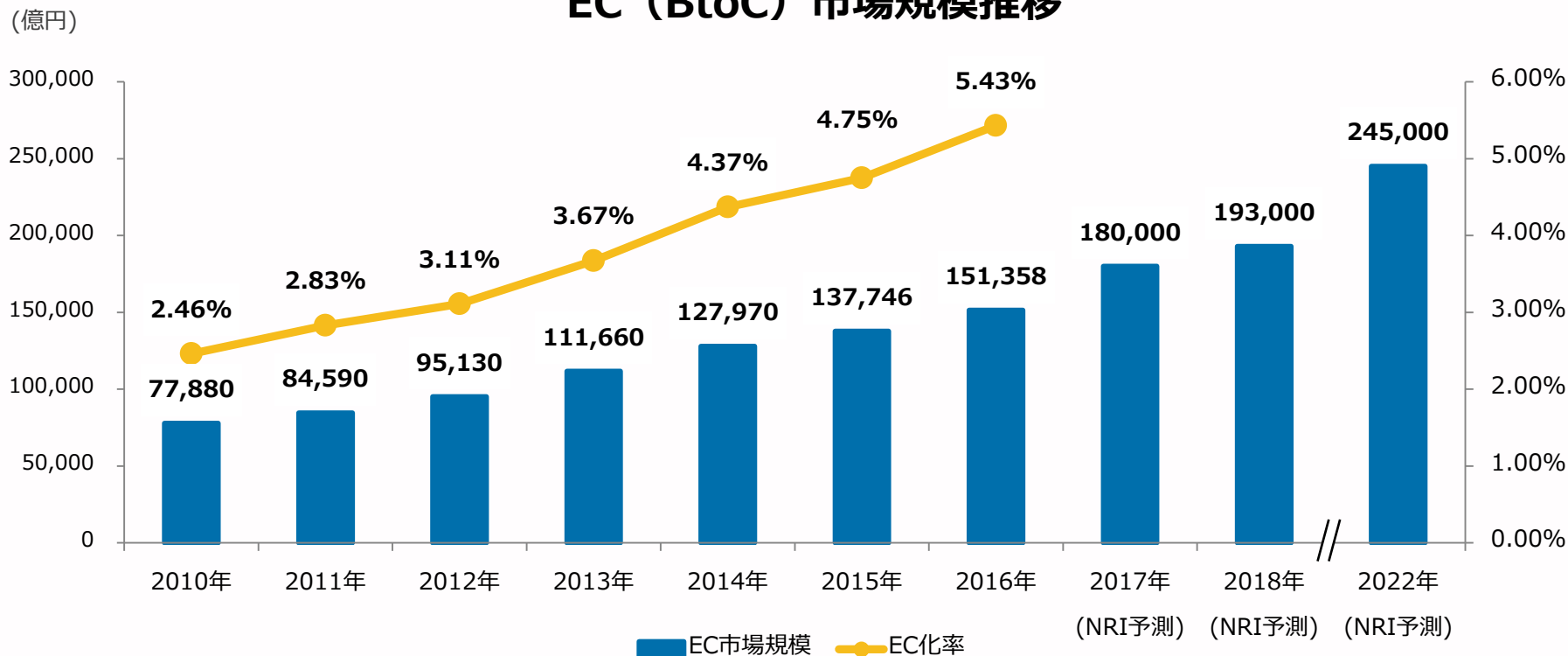


注：事業者売上ベース、予測値は2016年11月現在

- ◆2013年度から2018年度までのコールセンター（テレマーケティング）市場は年平均成長率1.9%で推移し、2018年度には8,831億円になると予測
- ◆2013年度から2018年度までのコンタクトセンター/CRMソリューション市場規模は年平均成長率2.7%で推移し、2018年度には4,945億円に達すると予測

\* 出所：矢野経済研究所「コールセンター（テレマーケティング）市場・コンタクトセンター/CRMソリューション市場に関する調査 2016」

## EC (BtoC) 市場規模推移



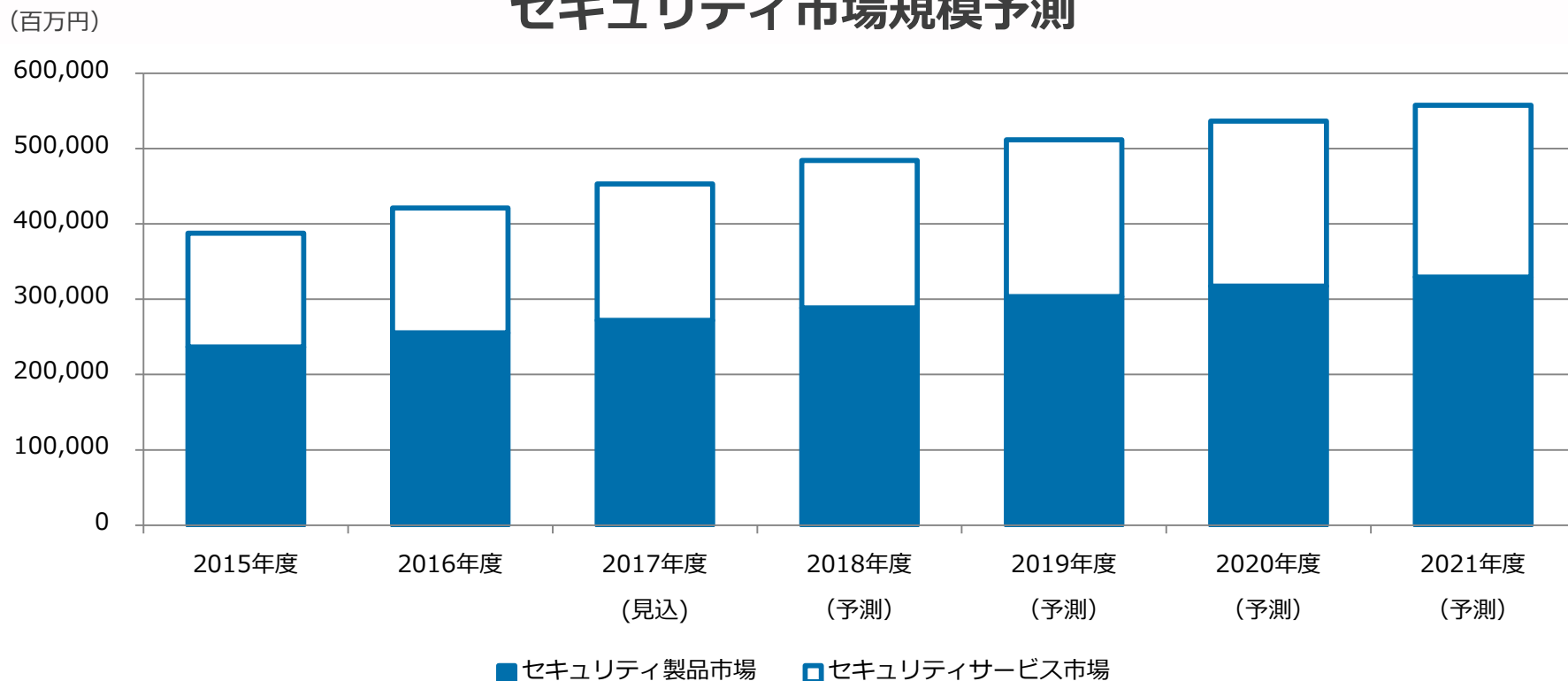
(～2016年：経済産業省、2017年～：野村総合研究所データをもとに作成)

- ◆ 2016年の市場規模は対前年比率は9.9%増。EC化率※は5.43%と拡大
- ◆ 2022年には24兆円規模を予測（野村総合研究所）

※EC化率：全ての商取引金額（商取引市場規模）に対する、電子商取引市場規模の割合を指します。（経済産業省HPより）

\* 出所：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」、野村総合研究所「ITナビゲーター2018年版」

## セキュリティ市場規模予測



◆国内のセキュリティサービス・製品市場は、2016年度の4,212億円から、2021年度は5,574億円に拡大の予測

◆平均成長率は5.8%の高い成長率を予測

\* 出所：(株)富士キメラ総研「2017ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」





<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp